

# 進化計算シンポジウム 2016 プログラム

第 2 版

## 12月10日(土)

11:00- 受付  
 11:30-13:00 昼食  
 13:00-13:05 開会式 石淵久生 (進化計算学会 第5代会長 大阪府立大学)

13:10-14:50 ポスターセッション1 (フラッシュトーク 2分/件) 司会 串田 淳一 (広島市立大学)

No.	論文題目/著者
P1-01	粒子群最適化法による複数解探索 太田 凌, 坂本 秀人, 斎藤 利通 (法政大学)
P1-02	カオス力学系に基づく多点探索型最適化手法により簡素に実現される解追跡メカニズムの解析 山仲 芳和, 坪根 正 (長岡技術科学大学)
P1-03	優良解集合の提案と Firefly Algorithm に基づく最適化手法の提案 大隅 竜太, 熊谷 渉, 田村 健一, 土屋 淳一, 安田 恵一郎 (首都大学東京)
P1-04	異なる実装による NSGA-III の探索性能への影響調査 今田 諒, 能島 裕介, 石淵 久生 (大阪府立大学)
P1-05	EMO アルゴリズムにおける探索履歴活用方法の検討 左文字 響, 渡邊 真也 (室蘭工業大学大学院)
P1-06	探索空間に注目した進化型多目的最適化手法の探索性能比較 谷垣 勇輝, 能島 裕介, 石淵 久生 (大阪府立大学)
P1-07	CMA-ES における集団数の適応機構の提案 西田 昂平, 秋本 洋平 (信州大学)
P1-08	最適化・モデリング・シミュレーションを結合した統合的最適化を用いたサーフェスマータの磁極形状の最適設計 土屋 淳一, 安田 恵一郎 (首都大学東京)
P1-09	複数のニューラルネットワークを組み合わせた探索の効率化 佐塚 駿気, 中田 雅也, 濱津 文哉, 濱上 知樹 (横浜国立大学)
P1-10	群知能における探索点の勾配推定に関する考察 大井 允人, 肖 恒, 島中 利治 (大阪大学)
P1-11	シグマ法を導入した改良多目的粒子群最適化 長谷川 侑紀 (日本工業大学大学院), 木村 貴幸, 神野 健哉 (日本工業大学)
P1-12	Initial Steps in MOEAs Dynamics Analysis Using Models Monzon Hugo, Aguirre Hernan (Shinshu University), Verel Sebastien (Univ. Littoral Cote d'Opale), Liefoghe Arnaud, Derbel Bilel (Univ. Lille. / Inria Lille-Nord Europe), Tanaka Kiyoshi (Shinshu University)
P1-13	回転不変性を考慮した Particle Swarm Optimization の改良 串田 淳一, 原 章, 高濱 徹行 (広島市立大学)
P1-14	非同期性を適応的に制御する半非同期進化的アルゴリズムの検討 原田 智広 (立命館大学)
P1-15	一般化進化計算法に関する検討 島 崇人, 長尾 智晴 (横浜国立大学)
P1-16	カコウ探索に基づく複数のダイナミズムを含む動的環境への適応 梅内 祐太, 上野 史, 佐藤 寛之, 高玉 圭樹 (電気通信大学)
P1-17	周期関数最適化における CMA-ES の問題点とその対処法 山口 貴大, 秋本 洋平 (信州大学)
P1-18	多目的ファジィ遺伝的機械学習における並列分散実装の過学習に対する効果 武村 周治, 能島 裕介, 石淵 久生 (大阪府立大学大学院)
P1-19	局所個体群の fitness に基づく fitness 景観の勾配推定を導入した火花アルゴリズム 余 俊, 高木 英行 (九州大学)
P1-20	学習分類システムにおける評価回数に基づく分類子の選択圧自動調整 辰巳 嵩豊 (電気通信大学大学院), Kovacs Tim (University of Bristol), 佐藤 寛之, 高玉 圭樹 (電気通信大学大学院)

14:50-15:00 休憩

15:00-16:40 ポスターセッション2 (フラッシュトーク 2分/件) 司会 宮川 みなみ (法政大学, 日本学術振興会 特別研究員)

No.	論文題目/著者
P2-01	多目的母材設計における実行不可能解の修復に関する一検討 田中 麻莉子 (電気通信大学), 山岸 雄樹, 永井 秀稔 (新日鉄住金ソリューションズ株式会社), 佐藤 寛之 (電気通信大学)
P2-02	Feature generation using co-evolution ジャスワル サディシュ クマル, 伊庭 斉志 (東京大学)
P2-03	進化的強化学習による状態行動系列の一般化 中田 雅也, 濱上 知樹 (横浜国立大学)
P2-04	個体集団の分割と遺伝的操作を導入した差分進化アルゴリズムに関する研究 町田 雄紀, 三澤 秀明, 久保田 良輔 (宇部工業高等専門学校)
P2-05	二つの回転モードを有する粒子群最適化における Gbest の影響に関する調査 中野 秀洋, 佐々木 智志, 宮内 新, 田口 亮 (京都市大学)
P2-06	優良解集合探索におけるクラスタ情報を利用した Firefly Algorithm に関する基礎検討 王 鴻燃, 大隅 竜太, 田村 健一, 土屋 淳一, 安田 恵一郎 (首都大学東京)
P2-07	探索点ごとに異なるパラメータ値を有する Cuckoo Search 三宅 雄貴, 田村 健一, 土屋 淳一, 安田 恵一郎 (首都大学東京)
P2-08	DIRECT 法における探索空間の低次元化 開発 拓也 (室蘭工業大学), 渡邊 真也 (室蘭工業大学大学院)
P2-09	MOEA/D-DR に対する正規化適用方法の検討 岸上 利裕, 吉川 大弘 (名古屋大学)
P2-10	多層個体群を有する遺伝的プログラミングの提案 長谷川 拓, 森 直樹, 松本 啓之亮 (大阪府立大学)
P2-11	進化計算を用いた化学反応モデルの推定 海内 映吾, 伊庭 斉志 (東京大学)
P2-12	エッジャー風タイリング図形の自動設計における目的関数の検討 久富 あすか, 木場 仁美, 水野 一徳 (拓殖大学), 小野 智司 (鹿児島大学)
P2-13	An Evolutionary Construction of Basis Functions based on GP and RVM 馮 驥 (東京大学)
P2-14	カオス進化の交叉率に関する調査 山住 優希, 裴 岩 (会津大学)
P2-15	Affinity Propagation によるクラスタリングを用いた粒子群最適化 鈴木 一弘, 伊庭 斉志 (東京大学大学院)
P2-16	Multi-fidelity Multi-objective Efficient Global Optimization Applied to Airfoil Design Problems Ariyarat Atthaphon, Kanazaki Masahiro (Tokyo Metropolitan University)
P2-17	MOEA/D における集約関数の動的制御の検討 佐藤 孝榮, 渡邊 真也, 左文字 響 (室蘭工業大学大学院)
P2-18	非劣解分析手法 CHSM における最小支持度自動設定の検討 賀川 祐太郎 (室蘭工業大学), 渡邊 真也 (室蘭工業大学大学院), 千葉 一永 (電気通信大学大学院), 金崎 雅博 (首都大学東京), 棟朝 雅晴 (北海道大学)
P2-19	進化型多目的最適化のための機能分担に基づく探索戦略 森田 聖惇, 田村 健一, 土屋 淳一, 安田 恵一郎 (首都大学東京)

16:40-16:50 休憩

16:50-18:30 ポスターセッション3 (フラッシュトーク 2分/件) 司会 中野 秀洋 (東京都市大学)

Table with 2 columns: No. and 論文題目/著者. Contains 20 entries (P3-01 to P3-20) listing various research topics in optimization and their authors.

19:00-21:00 夕食・懇親会
21:30- 二次会

12月11日(日)

07:30-09:00 朝食

09:00-10:40 ポスターセッション4 (フラッシュトーク 2分/件) 司会 大西 圭 (九州工業大学)

Table with 2 columns: No. and 論文題目/著者. Contains 19 entries (P4-01 to P4-19) listing various research topics in optimization and their authors.

10:40-10:50 休憩

10:50-12:30 特別講演 司会 佐藤寛之 (電気通信大学)

企業における数理最適化技術の開発と実践 - 鉄道計画システムの取り組み事例

講演者: 佐藤 達広 ((株)日立製作所 研究開発グループ システムイノベーションセンタ インフラシステム研究部)

HDD 生産ラインにおける多目的最適化手法の応用

講演者: 石原 義之 ((株)東芝 研究開発センター機械・システムラボラトリー)

12:30-13:40 昼食

13:40-14:25 総会

14:25-15:00 表彰式, 閉会式, 記念撮影

#### 改訂履歴

- ・第1版→第2版
  - ・ポスターセッション3と4の司会者を入れ替え
  - ・発表タイトル一部修正